



あの日見た大山車。
今の子どもたちにも

特集 若者の

—チカラ—

商工会青年部 50 周年記念事業

今回「大山車復活」を企画した商工会青年部。
彼らはどんな想いで大山車を復活させたのか。
商工会青年部とはどんな人たちなのか。
彼らにスポットを当て取材しました。



仕事が終わってから夜遅くまでの修繕作業。それぞれの職業の技術を用い、自分たちの手で山車を復活させました。

祭 復活祭のきっかけ

時代とともに縮小されるイベントが多い中、商工会青年部の集まりのときに「自分たちが、べんべよいとこ祭りのときに見た山車を復活させて、子どもたちを喜ばせたい」「山車がまちを練り歩き、活気のある時代を思い出してほしい」との想いで、今年、商工会青年部が創立50周年の年なので、その記念事業として「大山車復活祭」を実施することとなりました。

祭 それぞれの職業を活かし

商工会青年部の職業は、多種多様。仕事の技術と知識を用い、山車の修繕を8月から始め、忙しい仕事の合間を縫って行ってきました。壊れた所を直し、色を塗り、電球や提灯を付け、当日を迎えました。